

クリティカルリスニング（全・英）-E3(2)

Rylander 国際高等教育院棟講義室32

口頭試験については、履修人数に応じて19:00から実施する場合もある。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

成績は、筆記試験および口頭試験の合計得点（70%）と学習履歴（30%）から総合的に評価する。

筆記試験は、『Kyoto University Listening & Speaking for Academic Purposes 2』から出題する。各回の出題範囲は、「ガイダンス資料」で確認すること。試験開始後の入退室は、厳禁とする（遅刻した場合、受験を認めない）。

なお、筆記試験を一度も受験しなかった場合、不合格となるので注意すること。

口頭試験は、『Kyoto University Listening & Speaking for Academic Purposes 2』から出題し、口頭で発表（録音）する形式となる。

なお、口頭試験を受験しなかった場合、不合格となるので注意すること。

学習履歴のスケジュールは、「ガイダンス資料」で確認すること。

【教科書】

eラーニング教材『Kyoto University Listening & Speaking for Academic Purposes 2』を利用する。教材は京大生協吉田店で購入すること。学習履歴を成績評価に用いるため、各自必ず購入すること。

【授業外学修（予習・復習）等】

学習履歴は、以下の項目から総合的に評価する。計画的に学習を進めること。

- ・完了率：動画の視聴，単語クイズ，発話タスクから総合的に集計した値が十分か。

単位を修得するには、各期間の完了率がそれぞれ60%以上であること。

- ・学習への取り組み状況と学習時間：十分な学習時間をかけて、適切に学習しているか。

不十分な学習時間であったり、発話タスクを行っていない課題（動画）は評価しない。

- ・学習締切：締切を守って、計画的に学習しているか。

学習期間は前半と後半にわかれており、それぞれの期間内に決められた課題（動画）を学習する必要がある。前半の課題を後半の期間に学習しても評価しないので注意すること。

【その他（オフィスアワー等）】